

# ひとりひとりができることを ゼロカーボン アクション30

荻田町では、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ荻田」を宣言しました。脱炭素社会の実現のためには、一人ひとりのライフスタイルの転換が必要です。そこで今回は、くらしの脱炭素化のために環境省が提唱している「ゼロカーボンアクション30」を紹介します。皆さんもできることから始めてみましょう！

**エネルギーを節約・転換しよう！**

- ①再エネ電気への切り替え
- ②クールビズ・ウォームビズ
- ③節電
- ④節水
- ⑤省エネ家電の導入
- ⑥宅配サービスができるだけ一回で受け取ろう
- ⑦消費エネルギーの見える化

**太陽光パネル付き・省エネ住宅に住もう！**

- ⑪太陽光パネルの設置
- ⑫ZEH（ゼッチ）
- ⑬省エネリフォーム  
窓や壁等の断熱リフォーム
- ⑭蓄電池（車載の蓄電池）  
・省エネ給湯器の導入・設置
- ⑮暮らしに木を取り入れる
- ⑯分譲も賃貸も省エネ物件を選択
- ⑰働き方の工夫

**CO2の少ない交通手段を選ぼう！**

- ⑳スマートムーブ
- ㉓ゼロカーボン・ドライブ

**食品ロスをなくそう！**

- ㉔食事を食べ残さない
- ㉕食材の買い物や保存等での食品ロス削減の工夫
- ㉖旬の食材、地元の食材でつくった菜食を取り入れた健康な食生活
- ㉗自宅でコンポスト

**CO2の少ない製品・サービス等を選ぼう！**

- ⑧脱炭素型の製品・サービスの選択
- ⑨個人のESG投資

**3R（リデュース、リユース、リサイクル）**

- ⑱使い捨てプラスチックの使用をなるべく減らす。マイバッグ、マイボトル等を使う
- ⑲修理や修繕をする
- ⑳フリマ・シェアリング
- ㉑ゴミの分別処理

**サステナブルなファッションを！**

- ㉘今持っている服を長く大切に着る
- ㉙長く着られる服をじっくり選ぶ
- ㉚環境に配慮した服を選ぶ

**環境保全活動に積極的に参加しよう！**

- ⑩植林やゴミ拾い等の活動

※ ESG投資…財務情報だけでなく、環境などの要素も考慮した投資／ZEH…太陽光発電などを利用し、エネルギー収支をゼロ以下にする家  
スマートムーブ…日常生活の移動手段として公共交通機関などを利用すること

## 町の職員もゼロカーボンアクションに取り組んでいます！



### 職場には毎日マイボトルを持参

水分補給が欠かせない今の季節、お茶をマイボトルに入れて持ってきています。ペットボトルの飲み物を買わなくていいので、お財布にも優しいですよ。



### スマートムーブ！役場まで自転車で通勤

自宅から役場まで毎日自転車で通勤しています。私の実践しているゼロカーボンアクションは環境だけでなく健康にもいいので、運動不足解消におすすめです！